

京都ドイツ語学研究会

Arbeitskreis für Germanistische Sprachwissenschaft Kyoto

第103回例会のお知らせ

2021年4月24日

拝啓 穀雨の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、下記の要領にて第103回例会を開催いたしますのでご案内申し上げます。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今回の研究発表会は Web 開催とし、2名の方にご発表いただきます。また、今回はオンラインによる定例総会を開催いたします。同封しております文書「決算報告」、「予算案」、「京都ドイツ語学研究会・世話人代表および世話人の選出について」は定例総会の資料ですので、総会時にお手許にご用意ください。

何卒万障お繰り合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

京都ドイツ語学研究会

(<http://www.sprachwissenschaft-kyoto.com>)

記

◇Web 発表・定例総会 (LIVE) :

2021年5月22日(土) 13:30 ~ 17:30 (予定)

※ビデオ会議ツール Zoom を使用して開催いたしますが、これまでのような事前視聴方式ではなく、完全 LIVE 方式で行います。

※参加の方法につきましては案内状をご覧ください。

緊急連絡用メールアドレス: info@sprachwissenschaft-kyoto.com

(上記アドレスは、@を□にしています。)

※当日は会員名の確認をさせていただきますので、フルネームでのご参加をお願いいたします。確認ができない場合は、入室後にこちらからお名前をお尋ねすることがありますので予めご了承ください。

〔例会プログラム〕

・研究発表

1. 感情表現としての mir / dir

佐分利 啓和 氏 (関西学院大学大学院生)

2. エネルギー政策とドイツメディア - 原子力推進派と原子力反対派が用いる言語表現 -

佐藤 和弘 氏 (龍谷大学)

・定例総会

以 上

それぞれの発表内容につきましては、次ページの「発表要旨」をご参照ください。

〔発表要旨〕

1. 感情表現としての mir / dir

佐分利 啓和 氏（関西学院大学大学院生）

ドイツ語の自由与格のうち関心の与格は、口語でしか用いられない、一人称ないし二人称でしか出現しない、前域に配置できない、要求文と感嘆文にのみ現れるなどユニークな特徴を持つ。命題外、すなわちモダリティに関わる表現であることも特徴的であり、心態詞と類似した機能を持つことが知られている。本発表では、関心の与格 mir/dir が、話し手の態度や感情などを表す「表出的意味」を持つことに注目し、要求・命令・驚き・非難などの意味があるとされる関心の与格の機能を、感情的側面から統一的に把握しようと試みる。宮下 (2020) が心態詞 denn の機能に関する検討で援用した Russell & Barrett (1999) による感情円環モデルを導入することで、関心の与格と感情の関わりを明らかにしたい。

2. エネルギー政策とドイツメディア - 原子力推進派と原子力反対派が用いる言語表現 -

佐藤 和弘 氏（龍谷大学）

米国の核物理学者 A. M. Weinberg は、人類が原子力エネルギーを手に入れたことに対し "Wir haben einen faustischen Pakt geschlossen." と表現した。20 世紀はこの *Höllengefeuer* をめぐり *Pro-Atom* と *Anti-Atom* の間で修辭的表現を駆使し賛否両論が飛び交った。21 世紀に入り *Klimawandel*、*Klimakrise* により脱炭素化社会がエネルギー政策の中心課題に移ると、世代交代と共に例えば *Umweltschützer*、*Brückentechnologie* にも新たな現象、意味解釈が生まれている。また、*Ökoverbrecher*、*Klimaverbrecher* など地球を、人類の生存を脅かす複合語が次々と登場してくる。本発表においてはドイツメディアで取り上げられたエネルギー政策、とりわけ原子力政策において、原子力推進派と原子力反対派が巧みに用いる言語表現を、婉曲語法 (Euphemismus)、ネオロジズム (Neologismus) に注目し、エコ言語学的観点から言語分析を行う。